

ハッション! 新名神

新名神高速道路

八幡京田辺
JCT・IC



城陽
JCT・IC

京都府の南北高速道路軸の形成

新名神の城陽～八幡京田辺間の開通により、南北に長い京都府の南端（京奈和自動車道 木津IC）から北端（山陰近畿自動車道 京丹後大宮IC）までの約140kmが高速道路でつながります。

地域産業の活性化

- ・京都府は茶葉の生産地として有名で、おおい茶においては全国1位（平成28年）の生産量を誇っています。
- ・京都府内で生産される茶葉は、城陽市にある京都茶市場へ出荷され、卸業者等により一般市場へ流通。城陽～八幡京田辺間の開通により出荷～流通の速達性が高まることが期待されます。
- ・地域活性化として地域林業と連携し、新たな環境への貢献を目指して、これまで使われなかった未利用間伐材を価値ある資源として活用しています。
- ・加工場、販売拠点まで高速道路での運送が可能となり、将来的には更に利便性が向上し、増産、販路拡大が期待されます。

物流・産業拠点の整備

- ・城陽JCT・ICの近傍では、新名神の開通に合わせて、物流や産業の新拠点として新市街地整備事業が進められています。
- ・IC直近の好立地条件で多くの企業進出が見込まれ、新たな雇用を創出予定、税収増が期待されます。

関西文化学術研究都市の活性化

- ・高速道路の整備により、関西文化学術研究都市への研究機関や企業の進出が進んでいます。
- ・城陽～八幡京田辺間の開通により学研都市のアクセス向上が図られ、通勤通学が便利になるほか、京都駅と直結する高速バス路線の経路としての活用も期待されます。

救急・災害医療活動への貢献

- ・城陽～八幡京田辺間の開通により、山城地域における唯一の第三次医療機関へのアクセス性が向上し、高速道路走行による患者への負担軽減につながります。
- ・大規模災害時に災害派遣医療チーム（DMAT）の機動性向上や連携強化が期待され、災害医療活動の信頼性が高まります。



新名神 開通式典・イベントフリーウォーキング 4月23日(日)・30日(日)



発行
西日本高速道路株式会社
関西支社 新名神京都事務所
〒607-8034 京都市山科区四ノ宮37
TEL.075-595-4931(代) FAX.075-595-4884
URL <http://www.w-nexco.co.jp/>

開通特別号 平成 29年 5月 発行